

学校だより

平田野中学校通信

令和7年9月18日 第12号

Tel 378-0126 Fax 378-4895

平田野中

Q 検索

学力調査より

3年生が受けた「全国学力・学習状況調査」および1・2年生が受けた「みえスタディ・チェック」の結果について、先生方で細かな分析をしていただいた結果をお伝えします。平田野中学校生徒の強みと弱み、それに基づいて今後の授業でこういった改善を図って課題を克服しようとするかをまとめました。

すでに、「考えて書けない」「問題を読み取る力が不足している」といった課題についてはお知らせしていましたが、今回はより詳細に分析してもらった結果をもって、今後の授業改善に活かしていきたいと思います。

1 年 国 語	強み	・一文や短文で解答する記述問題は県平均を大きく上回っている。
	弱み	・語彙力が乏しく、漢字が書けていない。 ・条件が入った記述問題はその意味が理解できておらず、的外れな回答が目立った。
	今後に向けて	・条件を付けた記述問題を定期テストで出題し、テスト後には振り返りをしていく。 ・語彙力を高めるために、授業で言葉の使い方や意味を確認していく。
1 年 数 学	強み	・計算の順序や面積・体積の求め方といった基礎的な内容が定着している生徒が多い。
	弱み	・単位量当たりの大きさを求める問題のように、もとにする量がどちらかを見極めること、どちらを基準にするかの判断が苦手である。
	今後に向けて	・どのように求めたかを説明する活動を増やす。 ・式のどの段階で間違えたのか、なぜ間違えたのかを考えさせることで、式の意味を理解させる。
1 年 理 科	強み	・振り子や電磁石の知識が身についていて、問題について考えることができている。
	弱み	・記述問題の無回答率が高い。 ・実験結果から水に溶けている食塩の様子について適切な解答ができていないといったように、粒子領域について県平均を大きく下回っている。
	今後に向けて	・結果を見通した実験構想や、予想と結果をもとに問題に対するまとめを検討し、自分の考えをもつことができるようにしていく。
2 年 国 語	強み	・「書く」領域の問題が5問中3問県平均を上回っている。 ・無回答率0%の問題も多く、粘り強く問題に取り組んでいる。
	弱み	・文法、敬語、手紙の形式などについて、知識不足の感がある。 ・記述問題の正解率が低く、この問題については無回答率も高い。
	今後に向けて	・基礎学力の定着のための反復練習の機会を増やす。 ・教科書で扱う文章意外に様々な文章に触れさせ、例えば鈴鹿市で取り組んでいる「よむ YOMU ワークシート」を有効に活用する手段を考える。

2年数学	強み	・自分の身の回りにある物事に関する問題だとイメージがしやすいため正解率が高い。
	弱み	・短答形式の問題はすべて県平均を下回っており、授業ではわかったつもりでも定着までは至っていないことが考えられる。 ・関数と図形の分野が苦手としている生徒が多い。
	今後に向けて	・関数と図形を苦手としている生徒が多いことから、現段階での学習内容以外にも、その内容に絡めた前の学年の復習を入れていく。 ・知識技能の内容習得はもちろん、幅広い問題に触れていくことにも力を入れていく。
2年理科	強み	・生物分野の正解率が高い。 ・記述問題の無回答率が県平均よりも低いことから、何かしら答えようとしている。
	弱み	・エネルギー領域が苦手としている生徒が多く、図やグラフから読み取り考察する問題ができていない。
	今後に向けて	・間違った認識が定着している恐れがあるため、ていねいに確認していくことが必要。 ・物事に疑問や予想を立てることを通して、考える力を育てていく。
3年国語	強み	・漢字や語句の意味を理解している生徒が多い。 ・物語における展開の効果や自分の考えを言葉にする力がある。
	弱み	・「読む」ことはできるが「書く」ことができない生徒が増えている。 ・問題の条件や意図を理解できていない。
	今後に向けて	・課題作文や単元ごとに自分の考えを文章にする機会において、ある程度の条件を提示することで、条件に沿った文章を書く練習をしていく。 ・様々な文章に触れる機会を増やすために、県教委が提供している「学 viva」などの学習教材を家庭学習に取り入れていく。
3年数学	強み	・関数の基本的な考え方や座標の並びが何を表しているかを理解している生徒が多い。
	弱み	・素数や相対度数といった数学の基礎用語の理解が不十分である。 ・割合の意味が理解できていない生徒が多い。
	今後に向けて	・授業での発表や振り返りを通して、数学的な用語の意味を確認していく。 ・複数の文章やグラフを比較する活動を通して、読み取る力を養う。
3年理科	強み	・地層を構成する粒の大きさに着目・分析する問いの正解率が高い。
	弱み	・元素記号が書けない生徒が多いことから、化学分野の基本内容が定着していない。 ・実験内容と関連する知識や技能を用いて、結果を分析・解釈することに課題がある。
	今後に向けて	・基本的内容の定着を図るため、小テストを実施したり、ペア学習したりすることで、基礎学力の向上を目指す。 ・実験の際には、結果を分析し解釈する力をつけるために、結果からわかることを自分なりの言葉でまとめ、グループワーク等でよりよく考えられるようにする。

ほとんどの生徒が中学校卒業後は高校進学を考えています。高校のレベルにもよりますが、どの高校を受験するにしても、基礎基本の内容は確実に身につけておく必要があります。学力調査と高校受検(受験)の形式は違いますが、問題をきちんと読み取って、考えて、そして答えることに変わりはありません。そのためにも、授業はもちろんですが、家庭学習も大切になってきますね。この学校だよりで何度も紹介している「アクティブ・リコール」しながら、知識を定着させたいものです。

